大衆文化と関東大震災

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

奈良　平安　鎌倉　室町　安土桃山　江戸　明治　**大正**　昭和

今日の問い

大正から昭和の初めに、人々の暮らしや文化はどのように変わったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 大衆文化とメディア

ラジオ・新聞・都市

2 多くの人々が楽しむ文化。

3 1925年に東京で始まった。

1 会社などに勤めて給料を得る人。

大戦景気で都市が発展し、会社に勤める ①サラリーマン や、電話交換手・タイピストなど職場で働く女性が増えた。都市では電車やバスが走り、デパートが人気を集め、洋服や洋食が広まった。流行の洋服を着て街を歩く若者は「モボ」「モガ」とよばれ、洋風の応接間をもつ文化住宅も建てられた。学校教育が広まって読み書きができる人が増えたことで、新聞や雑誌、安い値段の本(円本)が多くの人に読まれ、 ②大衆文化 が花ひらいた。

1925年には東京などで ③ラジオ放送 が始まり、やがてニュースや音楽が全国に同時に伝わるようになった。映画も大きな娯楽となった。文学では芥川龍之介や志賀直哉らが活躍し、労働者の生活を描く作品も生まれた。新聞は都市だけでなく地方にも広く届き、人々の関心は政治や社会の出来事にも向かった。都市の人々の暮らしは、洋風を取り入れながら大きく変わっていった。

2 関東大震災

1923年の大災害

4 1923年9月1日、関東地方をおそった大地震。

5 根拠のないうわさ。デマともいう。

1923年9月1日、関東地方で大地震が起こった(④関東大震災)。昼食の時間と重なって多くの家で火を使っていたため、東京や横浜の木造の住宅地で大規模な火災が発生し、死者・行方不明者は10万人をこえた。電気や水道、鉄道などの交通も止まり、食料や水が不足して、多くの人が避難生活を強いられた。各地や外国から救援物資や義援金も寄せられた。

社会が混乱するなか、「朝鮮人が暴動を起こす」などの ⑤流言 が広まり、おそれた人々が自警団をつくり、多くの朝鮮人や中国人が殺害された。また、社会主義者の大杉栄らが憲兵に殺されるなど、社会運動の指導者が軍や警察に殺される事件も起こった。

政府は内務大臣の後藤新平を総裁とする帝都復興院をつくり、東京では広い道路や公園が整えられた。災害に強い鉄筋コンクリートの建物も増えた。しかし経済は大きな打撃を受け、不景気が長く続いた。

関東大震災(かんとうだいしんさい) 1923年9月1日 ▶ 大火災 東京・横浜 ▶ 流言(りゅうげん) 朝鮮人・中国人の殺害 ▶ 復興と不景気 都市の再建

できた ＿＿ / 5

ちりつもドリル
学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。